

えほん

ひつじのぼうし

おがたれいこ さく ほらかずお しゃしん
誠文堂新光社

ねんにいちど、はるになるとひつじは「けがり」をする。ふわふわのひつじの「け」はかりとられると、「ようもう」になるんだ。よごれた「ようもう」をやさしくあらって、それから、よってねじって「けいと」にして。

ひつじの「け」から「けいと」のぼうしになるまでを、はくりよくたっぷり、いろあざやかなしゃしんとともにしょうかいしています。

ゆらゆらなじかん

クレア・ヘレン・ウェルシュ 文
フィオナ・ランバース 絵 石津ちひろ 訳
BL 出版

おひっこしをするってきいたとき、ぜんぜんうれしくなかったの。あたらしいいえはひんやりとかんじるし、まえのともだちがなつかしい。そしたらおばあちゃんは、「いまは、ゆらゆらなじかんだからそれでいいのよ。」ってわらった。ゆらゆらなじかんをぬけだすためにたいせつなのは、そのじかんをたのしむこと。じぶんのころをたいせつにおもえるおはなしです。

低学年

モンスターホテルでリサイクル

柏葉幸子 作 高島純 絵
小峰書店

まちはずれにある、いまにもたおれそうなビル。にんげんはあきビルだとおもっていますが、じつはモンスターのためのホテルでした。いま、モンスターたちのあいだでは、リサイクルがはやっています。ホテルでも、つかわなくなったものをまとめて、フリーマーケットにだしていました。ところが、つちグモのスパイダさんのたいせつなおまもりを、まちがってフリーマーケットにだしてしまいました！ホテルのみんなは、にんげんにへんそうしておまもりをさがしにいきます。

おばけのソッチ

キャン・キャン・キャンディー！
角野栄子 さく 佐々木洋子 え
ポプラ社

ソッチはあめやさんのかいだんにすんでいる、おばけの女の子。うたをうたうのがだいすきです。でも、ちょっとかわったこえなので、ソッチのうたはなんだかせなかがぞくぞくつとします。

うたのうまいヒロくんと、がくげいかいでいっしょにうたいたいソッチは、いいこえになるあめづくりをはじめました。

りんごあめ、うめぼしあめ、きゅうりあめ……いろいろなあめをつくりませんが、こえはなかなかよくなりません。

銀のソウと不思議な友だち

藤重ヒカル 作 こより 絵
金の星社

四年生になったかりんは、学校の帰り道で交通事故にあう。一緒にいたのは、教室で銀のソウのおり紙をくれたサラちゃん。頭にけががなかったかりんはすぐに退院できたが、サラちゃんには面会謝絶で会うことができなかった。

事故から一週間たち、久しぶりに登校しようとしたかりんだが、事故でぶつかって来た車が飛びかかって来るような気がして、動けなくなってしまった。学校には行きたいのにどうして行けないんだろうと考えていたある晩、月の下でぼんやりと光っているサラちゃんが窓をコツコツとたたいて、かりんのもとにやって来た。

しいくいん
飼育委員はなにも読まない小松原宏子 作 あわい 絵
静山社

小学校四年生で飼育委員の犬塚麟は、おとうさんから「空気を読め」といわれてしまうが、「空気」は読むものではなく「吸う」もので、意味不明だと思っていた。

そんなある日、国語の時間に『ごんぎつね』を読んで、「ひとりぼっちでさびしい「ごん」の気持ちわかる」と発言したトモくんに対して、「自分もひとりぼっちだから気持ちわかるんだ」といってしまったアキラ。そのことで、クラスのみんなはおこっしまい、いままで、トモくんといっしょだった帰り道もひとりになってしまう。

アキラは、クラスでかっているハムスター三匹からはげまされ、なかなかおもしろいとする。

高学年以上

ふたりのマンガ線

庭野るう 作
フレーベル館

はじめて同じクラスになった、六年生の錬磨と秘。錬磨は中学受験を目ざして塾に通い、四年生の時に「天才」とか「ガリ勉」とか嫌みを言われて以来、友だちはいない。そのため、たいくつで、行事の多いめんどろな一年になるだろうと思っていた。ところが、勉強に専念するために父に捨てられた大切なマンガを秘が持ち帰ったことにより、共通の話題ができ、二人でマンガを描くことになった。生まれ育った環境も性格も正反対の二人だが、かけがえのない時間を過ごすことになった。

あの日、ともに見上げた空

黒田季葉子 作 トミイマサコ 絵
Gakken

突如立ち上がった「ほーちゃんのためのやりなおし修学旅行計画」。五年生の伊吹は、とつぜんさけんだり駆けだしたりする兄のほーちゃんや、とある事情で林間学校に行けなかった親友のコトコも一緒に、ほーちゃんが通うコトコハウスのみならずと泊二日の旅行に行くことになりました。

しかし、この旅行を実現させるためには、解決しなければならない問題がたくさん。はじめはめんどろだと思っていた伊吹でしたが、兄や親友のことを少しずつ理解していくうちに、だんだんとこの旅行が楽しみになってきました。